

ぼくは父親ちちおやに対していい思い出おもてがない。父は画家かがだった。才能さいのうはあったようだが、昼間ひるまから酒さけを飲み、仕事をしているのかしていないのかわからないような生活を送っていた。父はぼくたち家族の生活のことはまるで考えず（※）、母は本当に苦勞くろうをしてきた。気に入らないことがあるとすぐに母に暴力ぼりよくを振るった。食事がまずいと皿ふを投げられ、真夜中まよなかに酒を買いに行かされ、それでも母は文句一つ言わない。なぜそこまでがまんをするのだろうと不思議ふしぎに感じていた。父の作品さくひんが賞しょうをとり、海外で紹介されてからは、生活に困ることはなくなったが、やはり酒さけや暴力ぼりよくは変わらなかった。

そんな父が亡くなって母はほっとしただろうと思っていたのに、なぜか父のかいた絵を見ながら毎日泣いている。父のことを「いい人だった。」と言う。夫婦とは（ ）と思う。

（※）まるで～ず：全然～ない

問1 なぜそこまでがまんをするのだろうと不思議に感じていたとあるが、筆者は母に対してどのように思っていたのか。

1. そんなにがまんしている母はとてもえらい。
2. そんなにがまんをするほど父のことを愛しているのだろう。
3. そんなにがまんをしないで文句ぐらい言えばいいのに。
4. そんなにがまんをしないで一緒にお酒を飲めばいいのに。

問2 （ ）に入る言葉として最も適当なものはどれか。

1. いやなものだ
2. 悲しいものだ
3. 美しいものだ
4. わからないものだ

げんだいかく はったつ 現代科学の発達は、私たちの生活を大きく変えた。子どもたちの 教育 においても、今まででは考えられないような大きな 影響 がある。

今から 50 年ほど前、テレビは 一般 の家庭ではまだ見ることができなかった。 当時 の子どもたちの遊ぶ場所は、家の中ではなく、 原っぱ (※1) や空き地、それから今ほど車が多くなかった 道路 であった。そこで子どもたちは友だちと遊びながら、知らないうちにいわゆる (※2) 社会勉強 もしてきたのだ。

時がたち、テレビが普及すると、子どもたちはあまり外へ出なくなった。外は多くのビルが建ち、 道路 は車がひっきりなしに (※3) 通るようになった。外で遊びたくても遊ぶ場所がない。そしてパソコン時代の今、一日中家の中でインターネットやメールをしている子どもが増えている。

IT (※4) の普及によって、私たちの生活は 非常に 便利になった。しかし、子どもの 教育 という点で見るとどうだろう。昔のような 社会勉強 はできなくなってしまった。生まれたときからインターネットや携帯電話のある世界で育つ今の子どもたちがどういう大人になっていくのか、興味深い。それと同時に恐怖を感じるのとは私だけだろうか。

問 筆者によると、現在、子どもたちの 教育 に大きな 影響 を与えているのは何か。

1. テレビの普及
2. 外で遊ぶ場所がなくなったこと
3. IT の普及
4. メールや携帯電話で話す内容